

学校教育目標	校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体現する生徒の育成									
重点努力目標	(1)アクティブ・ラーニングの視点に基づいた授業を実践することによって、基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力の向上をバランスよく図り、自ら課題意識を持って主体的に学習に臨み、友と高め合うことのできる生徒を育成する。 (2)失敗を恐れず挑戦する気概、辛抱・我慢して困難に打ち勝つ精神力、怠惰に流されず自己コントロールできる力をすべての教育活動を通じて鍛え、強くたくましい心と体を備えた生徒を育成する。 (3)学級や部活動、また地域社会との関わりの中で人に喜んでもらうために自分には何が出来るかを考え行動することが、結果的に自己理解や自分を大切にすることにつながることを実感させ、夢や希望、やる気を持った生徒を育成する。									
分掌重点目標	自ら進んで学び続けようとする生徒を育てる。 自分で情報を知り、友達とよりよく生活できる生徒を育てる。									
柱となる活動	3学期への提言	常時活動	1月	2月	3月	到達目標	評価基準 (Check)	成果と課題 Do&Check	来年度への提言 Action	
みずから学ぶ活動	自学ノート・3年:プラス2冊 2年:プラス1冊 1年:プラス1.5冊をめざす 1Fホワイエを利用して1か月に1度『課題展』を実施する ・別館に本を設置する準備を進める	『話す・聞く』レベルの徹底	学習委員会による呼びかけ。			・生徒に話す・聞く、姿勢、声の大きさを意識させる授業ができる。 ・生徒に話す・聞くについて適切な評価を返すことができる。 ・生徒に学ぶ姿勢を意識させる授業ができる。 ・クラスが落ち着いた学習環境になる。 ・各学年目標とするだけの自学ノート追加分を行うことができる。 ・課題展意向で内容の質が高まる。 ・生徒が1か月2冊本を読み切った ・別館に本を設置する準備を進めることができた。	自学ノート・3年:プラス2冊 2年:プラス1冊 1年:プラス1.5冊をめざす (図書アンケート) ・生徒が1か月2冊本を読み切った			
		家庭学習の定着と向上	自学ノートの冊数によって色を変えたシールを配布する 第一回課題 → 第二回課題 → 第三回課題 教員のチェックの工夫などでやる気が出るノートの取り組みにさせる							
		図書館環境の整備徹底	生徒アンケートの実施 カウンター・書庫の整美							
		教科での図書館利用推進	教職員への利用の呼びかけ・別館への本棚設置の準備							
みずから鍛える活動	学習委員会で統一して徹底させるようにする 授業中の机上整理を意識させる 委員全員が適切な声量で滑らかに放送することができる。	学習環境の維持・向上	教室の学習環境(ロッカー・机の中・掲示物)が整理整頓されているように継続して指導する。 分掌内の共通理解 全職員での共通理解			ロッカー、机の中の整理整頓させる指導ができる。 ・生徒同士での声掛けが多くみられるようになる。 ・校内の掲示物が分かりやすく掲示、管理できる。 ・校内放送で、生徒に正確な情報を分かりやすく提供できる。				
		時間の意識徹底	時間を守る意識を常に持つ。(授業2分前に教科担任が教室に出ている。授業終了時刻を過ぎない。など)							
		学級内・学校内の掲示管理	掲示場所と期間の提案 朝・昼の放送の実施、掲示物の管理をする。							
		放送の充実	放送内容の指導と充実							
みんなと生きる活動	35h実践を確実に行う。 反省要素は多く出たので、来年度への引継ぎはしっかり行う。	全教科における道徳教育の実践	副読本の計画的活用により、自尊感情を高めていく指導にあたる 情報モラルの授業実践を生かし、日常の指導につなげる 全校生徒、職員であいさつ、正しい言葉遣いを徹底する 2-(2) 人間愛 3-(1) 生命尊重 1-(4) よりよい社会の実現			・時と場に応じた適切な言動をとることができる。 ・情報に対しても、その他の対人関係に対してもモラルある行動をとることができる。	35h実践を確実に行うことができた。			
		文化祭活動	第4回文化祭実行委員会(2月) → 来年度文化祭へ							